

会津大学大学院コンピュータ理工学研究科 スマートデザインクラスター (ARC-Design)

メンバー

インタラクション

・吉岡 廉太郎 教授
(リーダー)

✓ 知識体験デザイン
✓ 知識モデリング
✓ アプリ開発

センシング

・小平 行秀 上級准教授
(サブリーダー)

✓ センサー開発
✓ センシングの
知識化

可視化アルゴリズム

・渡部 有隆 上級准教授
・西舘 陽平 准教授
・高橋 成雄 教授

✓ 行動マイニング
✓ 知識の可視化

ユーザ分析

・川口 立喜 上級准教授

✓ ユーザ体験
✓ 評価テスト

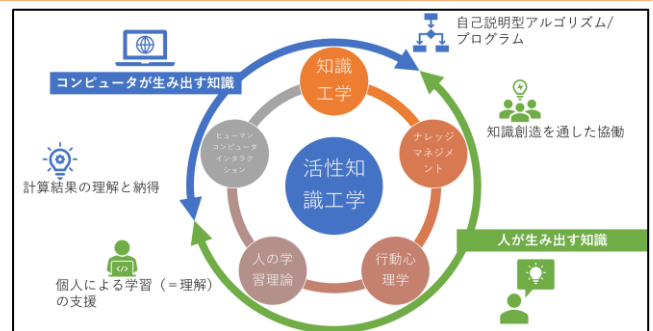
人による制御とコンピュータによる自動化のバランスを適切化するための知識創造と再利用手法の開発

目的

- ・知識創造を生み出す技術/システムの研究開発
- ・価値や目的の変化にも対応するシステムの研究開発

アプローチ

- ・物事の意図や意味を記録/伝える仕組みの開発
→将来の変更・拡張が容易で変化に迅速に対応可能
- ・人による知識創造を誘起する仕組みの開発
→システムの設計で人の知的行動を支援
- ・活性知識工学的システム開発
→ナレッジマネジメント、行動心理学、認知科学と知識工学の融合的アプローチ

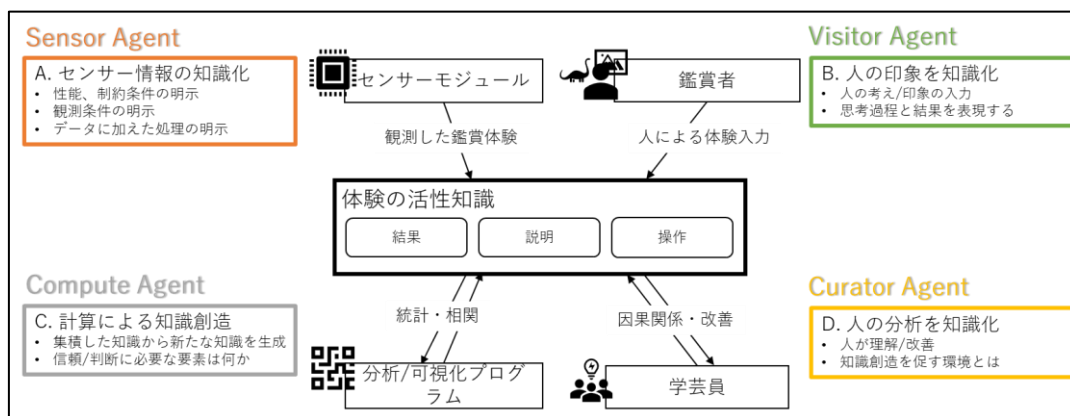


関連分野

- ・知識工学、ソフトウェア工学、センシング、可視化、ユーザインタラクション、アルゴリズム

取組例：「Smart Museum」- 福島県立博物館との共同プロジェクト

博物館での鑑賞体験向上を目指して、4つのエージェントが知識を介して協働して新たな知識体験を生み出すプラットフォームを構築し、知識創造に必要なデータモデル、ソフトウェア設計手法、センサーやアルゴリズムの活用方法を試行しています。



■環境と人流を体験として測定するセンサーの開発 ■鑑賞を促し知識体験を記録する

アプリケーションの開発

